

こんにちは、IELTS 公式テストセンター：JSAF（ジェイサフ）、大阪オフィススタッフです。このコーナーでは JSAF で IELTS を受験いただいた受験生からとの対談インタビューを掲載いたします。

第 3 回目のテーマは「**スコア達成後の夢に向かって**」です。IELTS の目標スコアを達成され、晴れて海外留学中の受験生の方から、スコア達成までの道のりや現在の留学先での生活についてのお声をいただきました。※ZOOM にてのインタビューをまとめております。

今回は「スコア達成後の夢に向かって ～前編～」をお届けします。

## チェリストの夢へ、一歩前進しています。

---

- どうもこんにちは、本日はよろしくお願ひします。まずは自己紹介をお願いします。  
N こんにちは、三重県出身、ハンドルネーム：**ナインチェ（以下：N）**です。現在はオランダに渡り、ハーグ王立音楽院 bachelor（1 年目）に在籍し、一人暮らしをしています。オランダの海の目の前の町に住んでいます。ビーチは観光地の一つです。
- そちらでの生活では不便はないですか？  
N そうですね、もっといろいろ大変かなと思ったのですが、驚くくらい何も起こらず、逆に何も起こらなすぎて怖いくらいですね（笑）。2 月現在の気温は 8～9℃です。寒くても 3～4℃くらいです。  
N 日本と変わらなくて、むしろちょっと暖かいくらいです。私はもともと三重出身です。雪も降っていないで思ったより寒くないですが、オランダは風がとても強いです。日本なら台風くらい。（笑）
- 台風くらい、すごい風ですね。街の様子、雰囲気はどんな感じですか？  
N コロナ禍に関しましては日本よりはピリピリしていないですね、都会ではなくて人口密度が低いので、とても平和ですね。コロナも忘れてしましそうな。場所にも寄りますが、オランダでコロナの「夜間は外出禁止令」対策に関する暴動は少し起きているみたいです。
- 現在所属のハーグ王立音楽院では何を学んでいますか？  
N 私が学んでいる専門は「古楽」というもので、ハーグ王立院での専攻はチェロがメインで、音楽理論の一環でチェンバロも学んでいます。チェロは 5 歳の時から、かれこれ 17 年くらいです。**小さいころからの目標は演奏家・チェリスト**としてヨーロッパでお仕事をもらっていろんなところで弾かせていただきたいと思います。

- チェリスト、素晴らしい目標ですね。では早速ですが、IELTS 受験理由・目的について教えてください。

N IELTS のスコアはハーグ音楽院へ入学・バachelorプログラム（4年コース）に入るために必要でした。

- 日本を離れる前に不安だったことはありますか



ナインチェさんの滞在先、オランダ郊外の風景（2月）

N コロナ禍のため、オランダにわたっても楽器の練習や学びをオンラインで進めて行くことが不安でした。ドイツ語イタリア語フランス語も飛び交う中でやっていけるのかなど。

- 英語でのやり取りは大丈夫ですか？

N 英語力が足りなくてついていけないことはないですね、授業中に質問すれば解決していただけるくらい。

**IELTS が力になっているなと思います。**

## それぞれのセクションを振り返ると

- IELTS の受験回数（ペーパーとコンピューターで受験する IELTS 其々）をお教えてください。

N Paper: 18 回（JSAF 外での受験も含む） CD: 4 回 です。

- 目標スコア／すでに達成した場合は獲得スコアと各セクションのスコアをお教えてください。

N 2020 年 9 月に Overall/6.0 : L/6.0 R/6.0 W/6.5 S/6.0 取得

- 目標スコアの達成にどのくらいの時間がかかりましたか？

N IELTS を受けたのは 2 年前くらいで、どのくらいレベルが高いかを認識しました。その後コツコツ IELTS を対策しながら、ハーグ王立からの合格をいただいてから、実質ラストスパートは直前の 3-4 カ月ですね。その間に 12 回も受けました。

- IELTS を受験してみて、難しいと感じたセクションはありますか？ その理由も教えてください。

N どのセクションが難しいと簡単に、はっきり申し上げることは出来ませんが、それぞれに感じたことがあります。（以下）

(Reading): 苦手な分野、知識がない分野が出題されるとかなり回答するのが困難であること。

(Listening): 何か聞き逃したと一度思ってしまうと立ち直るまでに時間がかかり、点数が取れない事態になること。

(Writing): task1/2 の時間配分、内容の精査、最後まで論点を一貫して書けるように設計と振り返りを行うことによって一定のスコアを維持ができるようになりました。

(Speaking):自分が上手く話せたなと思った時のスコアが下がったこと。対策を行っているにも関わらず、途中で全般的にスコアが下がりました。最後は無事に脱却できました。

- 詳しいご説明ありがとうございます。Reading テストは壁が厚かったように見受けれます。
- N Reading にはもともと苦手意識があり、それも相まって難しいと思いました。勉強で吸収した知識を生かすことは Writing も難しく感じました。その苦手な Reading と Writing を比べた時には、Writing の方がモチベーションを維持しながら勉強できたと思います。



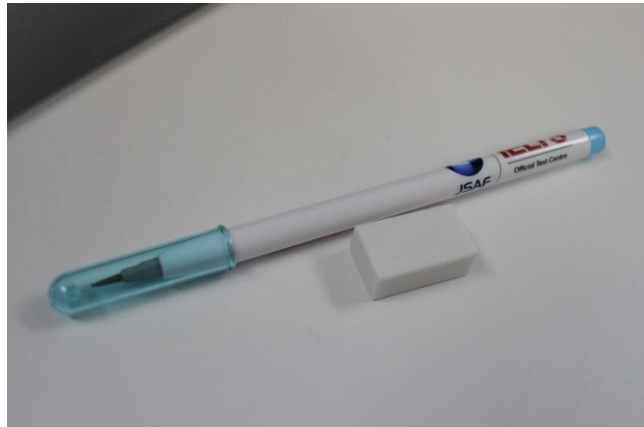
## リラックスして受験できました

- JSAF-IELTS の受験環境・スタッフの雰囲気・対応はいかがでしたか？
- N 皆さまとてもフレンドリーに対応して頂き、おかげさまでリラックスして受験できました。他のテストセンターでも何回か受験しておりましたが、JSAF は比較的少人数なので、とても快適でした。精神的に追い詰められている中、笑顔で対応していただけて安心しました。コロナ禍の状況になってソーシャルディスタンスや感染症対策などお互いが気をつけないといけないことが多くなって、普段よりも緊張感が高まる中、穏やかな雰囲気づくりをしてくださって、気持ち的にも安定して受けることができたのは大きかったなぁと思っています。皆様には感謝です。- こちらこそ励みになり感謝いたします。具体的になにか良かった点はありますか？

N 午後の Speaking テストに集合した際の案内がとても分かり易くて、何をすればよいか分かったので安心しました。あと **テストの前日には Speaking テストの時間を事前に個別のメールで送信**してくれるところも大きな安心材料の一つでした。

  - JSAF で IELTS を受験しての申込手順・テスト当日の受付はいかがでしたか？

JSAF-IELTS のオリジナル鉛筆。ロケット鉛筆になっているので削る必要なしです。



N 申し込みや当日受験のプロセスも他の機関と比べて分かりやすいですし、スムーズだと思いました。試験ではロケット鉛筆と消しゴムを配布頂けるので大量の鉛筆を持ち歩く必要がないので、とても助かりました。

● 日本でも IELTS を実施している団体はいくつかありますが、なぜ JSAF-IELTS を選択されましたか？

N コロナの中で一時期殆どのテストセンターで受験出来ない中で、JSAF は一番早くテストを再開して下さったセンターだったからです。あとは試験日程が多く、私の条件にピッタリだったからです。あと余談ですが高校生の時に、オーストラリアを旅行して、大好きになりました。JSAF がオーストラリアと関係があると知って親近感を持ったのも、一つの理由です(笑)

● ナインチェさんは複数回 IELTS を受験されていますが、「ペーパーで受験する IELTS」と、「コンピューターで受験する IELTS」はどちらが受けやすかったですか？

N 勉強と筆記の練習を重ねた分ペーパーの方が受けやすかったです。コンピューターで受験する IELTS にも良さがあって、その一つが「結果の受取が 3~5 営業日」なので、スコアの出願までに時間がない方にとっては「コンピューターで受験する IELTS」が便利だと思います。

● IELTS 受験前に漠然と何か不安な点はありましたか？

N コンピューターで受験する IELTS の時に、Reading などメモが取れないのかなと不安に思っていました。各セクションでメモ用紙を配布して下さったので、そちらにメモを取ることができとても助かりました。

	コンピューターで受験する IELTS	ペーパーで受験する IELTS	
<b>Computerの場合</b>			<b>Paperの場合</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング中は専用ヘッドフォン装着で音声に集中できる</li> <li>ライティング・リーディングの解答をタイピングできる</li> <li>本文中にハイライトしたりノートが書ける</li> <li>ライティングの文字カウントが自動計算</li> </ul>	各セクション形式 リスニング (🔴) リーディング (🔴) ライティング (🔴)	各セクション形式 ライティング (🟢) リーディング (🟢) リスニング (🟢)	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題用紙に直接手書きでメモが取れる</li> <li>リスニング: Recording後、解答用紙に転記する時間が10分間ある</li> <li>間違えた箇所は消しゴムで消さずに斜線でOK</li> </ul>
	スピーキング <small>どちらか、スピーキングテストは認定試験機関による別形式です。</small>		
	テスト結果	テスト後 3~5営業日	テスト後 13日
	申込方法	JSAF-IELTS公式テストセンターから コンピューターアイコン実地回を選択 www.jsaf-ieltsjapan.com	JSAF-IELTS公式テストセンターから ペーパーアイコン実地回を選択 www.jsaf-ieltsjapan.com
	テスト時間	リスニング* 30分 リーディング 60分 ライティング 60分 スピーキング 11-14分	ライティング 60分 リーディング 60分 リスニング* 30分 スピーキング 11-14分
		<small>* リスニングセッションでは、最後に2分間、聞き直しの時間が与えられます。</small>	<small>* リスニングセッションでは、最後に10分間、答えを解答用紙に転記する時間が与えられます。</small>
JSAF-IELTS では、ペーパーで受ける IELTS とコンピューターで受験する IELTS をお選びいただけます。(それぞれの特徴の詳細は HP にて。)			

## より大切なのはその後の“フィードバック（反省）”

- IELTS 対策として行った学習期間はどのくらいでしたか？
- N 初回受験は約 2 年前。1 年前から具体的な対策をはじめました。学校への出願が迫ってくると一時的にそちらの対策に集中しました。実際 IELTS のスコアが取得できるまでのラストスパートは夏季の約 3 カ月間でした。
- 勉強はどのように進められましたか？ 具体的な IELTS 教科書などがあれば教えてください。
- N 全般的な対策や指導はインターネット上から専門の講師の方を探し出しその先生にご指導頂いておりました。先生の教材に沿ってオンライン講座を受講→受験→結果や反省点を報告、今の私に必要な勉強内容や方法を客観的にアドバイスして頂きました。多くの生徒さんを受け持っているにも関わらず、いつも丁寧に寄り添って頂きました。頼れる先生がいるということは私にとってとても安心でした。
- なるほど、指導してくれる方がいると勉強も進めやすいですね。
- N はい、私は高校から音楽高校で、一般高校で学ぶ英語文法などは一切知らない状態からスタートでした。そのため IELTS を独学で勉強するのは厳しいと判断しました。私のいる音楽業界もそうですが、先生に**正しい練習方法(攻略法)を学び、それを可能な限り自分のものにするために練習して(勉強)して本番を迎える(実践)**。より大切なのは**その後のフィードバック(反省)です**。うまくいったところ、失敗したところを振り返りそれらを踏まえて次に何が**必要なのか、できるだけ真剣に考えることが、一見遠回りに見えて意外と近道だと考えます。**
- まさに PDCA (PLAN・DO・CHECK・ACTION) サイクルの実践が上達のカギですね。ナインチェさんの練習方法が IELTS の勉強にも役立っていたのですね。



>>> 「～スコア達成後の夢に向かって～後編～」へ続く



前半ではナインチェさんのオランダ留学までの道のりをお伺いしました。2年間で計22回のIELTS受験後に、目標スコアを獲得して無事オランダ留学までこぎ着けたナインチェさん。後半では、オランダでの生活や学校の様子についてより詳しくお伺いします。また、将来の夢についても語って頂きます。どうぞお楽しみに！